

開花宣言

桜の開花宣言の時期がやってきました。現在では、花見と言えば桜と決まっているが、昔は梅であつたそうです。桜の花は、綺麗だが散るのが早い意味で、当時は、好まれていなかったそうです。桜の花の下に行くのと病になると嫌がられた時期もあつたそうです。桜に対し、梅の花は、一月に咲き、現在でもまだ花を付けて花の咲く時期が長い、松と竹とで松竹梅としてめでたくたたえられています。ところが桜の花が、サッと咲いてサッと散るところから武士の魂に値するとの事でお城に植えられたのが始まりで現在ではありとあらゆるところに植えられ、桜の名所が沢山あり、花見と言えば「桜」となりました。何はともあれ桜の花の咲く時期は、寒い冬から暖かい時期への移り変わり、心弾ませる入学、入社の希望に満ちた時期と思います。“農”に関しても、ジャガイモの種を植え、これから新たに始まる、今年は頑張ろうと希望に満ちた楽しい時期です。桜の花を楽しみながら頑張っていきたいと思ひます。

第九回総会開催

平成27年度も組合員さんのご支援、ご協力により、黒字決算となりありがとうございました。総会終了後、京丹波町役場農林振興課、栗林課長様にお越しいただき「農政新時代」「～努力が報われる農水産事業の実現に向けて～」TPP対策についての講演を聞き、士気を高めました。本当に厳しい農政をいかに生きていくかを勉強しました。ほたるの里でのスローガン「美しいふるさとをみんなの力で守って行こう」のごとくボランティア精神があれば乗り切れるのではないかと思ひております。地域のまとまりが大切ではないかと思ひております。今年度もよろしくお願ひします。

ほたるの里研修

滋賀県、北比良グループの加工施設を研修に行きました。北比良グループでは米味噌を中心に地域食材を使ったパン、御菓子等いろいろなもの作り、販売しておられました。「ほっとすてーしょん比良」で販売し、味噌の加工所は鉄筋コンクリートの立派な建物で大津市の建物を管理しながら味噌作りをされていました。講演では、90才を超え、現役で味噌作りに頑張っておられる代表の女性が設立から現在までの苦労話や成功した喜びなどのお話を聞きました。特に感じたことは、加工、販売において、お客様を大切に、即ち、北比良グループが信頼されることを第一に考え経営をされていること。その中で地域の活性化と作業している喜びを感じながら現在まで来られている。又、90才を超えてなお現役で作業されている代表の女性にパワーを頂き、本当に参考になった研修でした。

ほたるの里女性部「夢ほたる」研修

加工食品の厨房施設と料理内容を勉強に岡山県のイタリア料理「ラ・ピータ」に行きました。「ラ・ピータ」のシェフは4年間イタリアで修業をつまみ、岡山で開業されました。厨房、料理についてシェフの説明を聞き勉強しました。厨房施設では、衛生面で一番神経をとがらせていられ、使いやすい配置等勉強になりました。料理は常に開発意識を持ち、お客様本位の考えで行われておりました。今、ほたるの里では、厨房施設を検討中ですが、この研修を参考にし、より良い施設、そしてより良い料理等を考えられたらと夢を膨らませ帰ってきました。

美しいふるさとをみんなの力で守って行こう